

# 4割が10年以上在籍

18.3.8毎日

## 市議会 不祥事、人事の関連指摘

姫路市内の市立3高校 師磨高校の情報流出事件に勤務する教員の人事異動について、市教委が95年度、「9年以上在職した教員は異動対象にする」という方針をまとめたにもかかわらず、4割以上が10年以上同じ学校に在籍し続けていることが7日、分かった。この日の市議会一般質問で、竹内英明議員（市民クラブ）が先月発覚した市立

師磨高校の情報流出事件などの不祥事と人事面の関連性を指摘し、「人事の滞留が生む弊害は、この世界でも指摘されているのに、この滞留状況は看過できない。どうして長期滞留者の異動を行わないのかとたたいた。市教委は95年度、「市立高校で清新明らかな機運を醸成し、学校運営の充実に資することを目的に、同じ学校に勤務してい

る者は69人。このうち20年が15人、30年以上

が12人もいることが判明した。高岡保宏教育長は「教科や部活動などの理由から長期滞留者が発生している。今後は、学校の更なる活性化、マンネリ化打破のため、公平かつ適正な人事を行いたい」と答弁した。

【安藤大介】

# 姫路の3市立高人事滞留

## 教員4割強 同一校に10年以上在職

姫路市立師磨高（景山祐一校長）で、奨学金申請書類や成績表などの個人情報が出た問題に絡み、同校を含む3市立高校の全教

員のうち4割強が市教委の定めた教員異動方針に沿

ず、同一校に10年以上の長期にわたり勤務して人事滞

留が起きていることが7日、市議会の一般質問で明らかになった。同校では

は、ス、ス、ス

市教委の高校教員異動方針では、異動対象者を▽9年以上の同一校に在職者▽新規採用教員で6年以上在職した希望者—と規定。ところが05年度では、管理職を含む3校の全教員計152人のうち69人が10年以上同一校に在職。うち20年が15人、30年以上も12人いるという。

市教委は「担当教科や部活動の種類、各校での性別や年齢のバランスなどが絡み、3校内だけでは異動させづらい状況にある」と釈明。対応策として、3校の校長に、長期在職者の異動を勧めるよう指導し、県立高との人事交流や新規採用の増員などを挙げ「マンネリ化を打破したい」としている。